講習のカリキュラム（高校）

■講習カリキュラムの方針	■高等教育機関（大学等）及び専修学校、職業訓練機関への進学、及び就職を見据えたキャリア教育授業の実施 ①高校生の進路状況や発達課題、高校のキャリア教育の実情を理解した上で、実施すべきキャリア教育の授業を開発する ②高等教育機関（大学等）及び専修学校、職業訓練機関での学びや就職に必要な能力を理解した上で、キャリア教育の授業を開発する ③生徒が社会で働く際の課題を理解し、生徒を支援する立場で、キャリア教育の授業内容を開発する ④先生の「課題」を理解し、外部専門人材がサポートすることでキャリア教育に関する授業を充実するための「協働」に向けた方策を開発する

	時間	テーマと主たる内容	講義	演習
1	9:30 ～ 11:00	□高校生の状況把握と進路先の理解、雇用失業情勢の理解 ・高校生の現状把握と進路先の理解 ・高等教育機関（大学等）及び専修学校、職業訓練機関での教育進路選択における課題（社会への円滑な移行） ・若者をめぐる雇用失業情勢、労働法制、就職支援策の理解 □高校におけるキャリア教育の理解と課題の把握 ・キャリア教育の現状（高校での取り組み状況）と課題	○	△
2	11:10 ～ 12:40	□高校でのキャリア教育授業の開発 1コマ目で学んだ内容を基礎に、ＬＨＲ等で実施する授業を開発する（個人ワークによる立案とグループワークによる深化・共有化） ・高等教育機関や専修学校、高等技術専門校での勉強と仕事との結びつけ ・自分を知る（職業に関する自分の興味・関心を知り、その職業を見据え進路決定ができるようになる） VRTテストの実施と結果分析、生徒へのフィードバックの方法	△	○
	休憩　～13:40			
3	13:40 ～ 15:10	□キャリア教育の提案と実践（アクティブ・ラーニングの実践） ・キャリア・コンサルタントがどのような支援ができるのかを、一緒に考える（キャリア・コンサルタントの専門性を活かしたキャリア形成支援方法の立案） ＜テーマの例＞ ＶＲＴの結果を、生徒に個別にフィードバックし、キャリア形成支援に繋げるための方策を実行する	△	○
4	15:20 ～ 17:00	□キャリア教育授業の実践（ケースメソッド教育） ケースメソッド教育「リスナーからの相談」 ※生徒の進学・働くことに関する悩みに答えるキャリア教育 ・答えの立案（個人ワークとグループワーク） ・キャリア教育の授業への昇華（50分授業の開発） □参加者同士の交流と情報の共有 ・各グループからの発表と評価　　・振り返りと総括	△	○